



藤沢記者クラブ各位

下水道施設に再生可能エネルギー電力を導入しました

～脱炭素社会を目指して～

本市では、2021年(令和3年)2月に「藤沢市気候非常事態宣言」を表明後、2022年(令和4年)3月に「藤沢市地球環境温暖化対策実行計画(以下、実行計画)」を改定し、藤沢市域全体として取り組む目標を「2030年度(令和12年度)における温室効果ガス排出量を2013年度(平成25年度)比で46%削減」と定めています。

このたび、温室効果ガス排出量が多い下水道施設の特別高圧電力と高圧電力の全てを再生可能エネルギー由来の電力へ切り替えをおこない、温室効果ガスの排出量を削減いたしました。

今後も2050年カーボンニュートラルに向けて、脱炭素社会の実現に向けた取組を推進してまいります。

1 再生可能エネルギー由来の電力切り替え

電力需給事業者 コスモエネルギーソリューションズ株式会社

電力需給開始日 2026年(令和8年)4月1日

2 対象下水道施設(11施設)

特別高圧電力施設 辻堂浄化センター

高圧電力施設 大清水浄化センター 南部処理区ポンプ場(6ポンプ場)
東部処理区ポンプ場(3ポンプ場)

3 温室効果ガス排出量削減見込量

約 12,960 t-CO₂ (2013年度比 約△54%)



【この資料に関する問い合わせ先】

藤沢市役所 道路下水道部
下水道施設課 大清水浄化センター
内線:6488
担当:鷺塚 日向 真鍋
直通:0466(81)8899